

新春対談

Part 2

いま、現役を終えて

(杉原) まずは、ご多忙にもかかわらずお越しくださいます、ありがとうございます。ございます。

久しぶりに武雄に帰ってこられて、いかがですか。

(福地) 子供の頃から見慣れた風景を目にして、よく知っている友人や知人、お世話になった方々などにお会いするとホッとします。

(杉原) さて、福地さんは今シーズン限りで現役を引退されるということで、大変お疲れさまでした。

来季からは東京ヤクルトスワローズのコーチに就任されるとのことですが、今どのようなお気持ちでしょうか。

(福地) 小さい頃からずっと野球をやってきましたので、もう練習をしたり試合に出たりすることがないんだなと思うと、正直なところ少し寂しさを感じます。

(杉原) 将来は一軍の監督というのはどうでしょうか。

(福地) そうですね、可能性はゼロではないと思います(両者笑)。

(杉原) 福地さんは、08年、09年と2年連続で盗塁王に輝くなど俊足巧打のスイッチヒッターとして活躍されました。プロの選手生活19年の間には、思い出に残る試合やプレーなどもたくさんあったのではないのでしょうか。

(福地) 私は長距離打者ではなかったの

び中継される時は、欠かさず見て応援していました。

(福地) ありがとうございます。

これからは選手を育てる立場になります。活躍する選手を送り出して、一人でも多くスワローズの選手の顔をみなさんに覚えてもらえるようになればいいなと思います。

野球が持つ大きな力

(杉原) ところで、福地さんはどのようなきっかけで野球を始めたのですか。

(福地) 近所の友達みんな草野球をやって遊んでいて、「僕も混ぜて！」とその中に入っていたのが最初です。

(杉原) 私も野球が大好きで、これまでチームを作ったりしてきましたし、今でも自分でプレーすることもあるほどです。そんな中で、野球の魅力や面白さはどういったところにあると福地さんは感じていますか。

(福地) 野球は団体競技ですから、勝った喜びや負けた悔しさをみんなで共有しながらお互いに成長できる部分は大きいと思います。それに、野球というスポーツには人をひきつける大きな力があると思っています。私たちプロは、プレーする姿をお見せすることで、みなさんに元気や勇気を与える事ができればいいなと思います。いつも頑張っています。

(杉原) 特に子どもたちにとっては、プレーの技術もさることながら、団体の中での礼儀やマナーといったことも大切だと思います。野球というスポーツはそうした大切な事も学べる場になっているのではないのでしょうか。

(福地) 私たちは野球教室で全国各地にうかがいますが、野球をやっている子ども達は元気で礼儀正しいですし、野球が子ども達の成長に大きな役

(杉原) 福地さんが出場する試合がテレ

東京ヤクルトスワローズ
二軍外野守備・走塁コーチ
福地寿樹
Fukuchi Kazuki

